# 2040年問題と地域包括ケアの戦略家として保健師が紡ぐ、人と地域の未来

徳島県北島町健康保険課 課長補佐 稲井 敏子

#### 北島町の紹介



8.74km 総面積 人口 23,689人 65歳以上 高齢者数 6.228人 高齢化率 26, 29% 平均年齢 45.59歳 13所(認可9無認可4) 保育所 中学校 小学校 3校 1校 医療機関 内科等 19機関 歯科 17機関 (令和7年8月31日現在)





#### 住みよいまち 北島

- ●人口密度:四国の全市町村の中で1位 (2,602人/km)※2020年国勢調査
- ●徳島県の自治体で最も面積が小さい
- ●徳島市、鳴門市に隣接した近郊住宅地
- ●周囲を旧吉野川、今切川に囲まれており、 水陸の便に恵まれているため工場地帯として発展
- ●空港、高速道路にも近いため企業進出も多い
- ●徳島県では数少ない人口増加の町

#### 訪れる未来へ、誰が耳を傾けるのか

- ◆ 少子高齢化 核家族化
- ◆ 育児支援者・介護の担い手の不足
- ◆ 単独および夫婦世帯の増加
- ◆ 生活スタイルの多様化
- ◆ 認知症高齢者数の増加
- ◆ 生活困窮・貧困の方の増加
- ◆ 8050問題などの多問題家族の増加
- ◆ 児童虐待の増加 など

#### 保健師の仕事

乳幼児から高齢者までの幅広い年齢層を対象 家庭訪問、健診、健康相談、健康教育という方法で住民生活の中へ

- ◆ 病気の予防や健康の促進
- ◆ 地区組織の育成
- ◆ 災害時や感染症流行時の健康危機管理
- ◆ 保健福祉計画づくりへの参画

それぞれの地域に合った活動を展開する専門職

#### 保健師のしごと

◆「ちいきづくり」の担い手

- ◆ 地域住民とともに、健康な地域社会を築く「地域づくりの推進者」
- ◆ 顕在・潜在する健康課題を把握し、計画立案・実施・評価
- ◆ 地域の健康課題解決に必要な社会資源の開発にも関与

#### 保健師の専門性を「ちいきづくり」に

- ◆見る 地域や家庭の変化、潜在的な課題に気づく力
- ◆つなぐ 住民・行政・医療・福祉・企業・教育を結ぶ架け橋
- ◆うごかす 住民主体の活動をそっと支え、仕組みへと育てていく推進力

課題に「光を当てる」だけでなく、「芽を信じて育てる」まなざしが 保健師の力

#### 地域づくりは人との関係づくり

- ◆ 地域づくりの柱は「症状」ではなく「関係」
- ◆一人ひとりが安心して暮らせる場をつくる
- ◆住民の健康を守る土壌を育てること 保健師の見立ての延長にある働きかけ データを読むカ×人の声に耳を傾ける力 制度と生活、科学と感性の接点を結び、関係性を構築する

#### 北島町での地域づくり

- ◆NPO法人YOU&ゆうとの歩み
- ◆ 介護予防事業から生まれる信頼
- ◆ 生活支援体制整備事業のパートナー
- ◆ 重層的支援体制整備事業へ

現在、地域食堂等8カ所、地域活動のプラットホーム





まちのコラボステーションきたじま オープニングイベント

令和5年9月14日

#### 行政と企業をつなぐ

地域の企業 地域づくりに欠かせない強い味方

- ◆健康づくりのパートナー
- ◆地域活動の応援団

保健師のつながりには限界がある⇒他課の協力は必須 企業の「地域貢献」を「地域づくり」に巻き込む







#### 関係性を育てると保健師の役割は変わる

- ◆始まりは保健師の課題意識
- ◆どんなふうにつなぐか、だれとつなぐか
- ◆地域活動が進むと、薄れてゆく存在
- ◆相談役としてつながる
- ◆その先を考え、変化を楽しむ

## 2040年問題と地域包括ケアの戦略家として保健師が紡ぐ、人と地域の未来

- ◆保健師って何しているの?それが「保健師」
- ◆目立たなくても、確かにそこにいる存在
- ◆地域の"根っこ"として支え続ける
- ◆単なる職務を超え、地域との結びつきの中で育まれてきた「住民の暮らし」を守る
- ◆ つながり

### ご静聴ありがとうございました